

科目名	学科	学年	単位	教科書（発行者）	副教材等
科学と人間生活	国際交流科	1	2	高等学校 改訂 科学と人間生活 (第一学習社)	改訂 ネオパルノート 科学と人間生活 (第一学習社)

科目の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 科学技術の発展に基づき、自然界におけるさまざまな事物・事象に対する理解を深める。 科学技術がどのように生活に関わり、役立てられているかを具体例にふれながら学習し、科学への興味・関心をもつ。
---------	---

学期	月	単元・題材	学習項目	学習のねらい（到達目標）	
一	4	第Ⅰ編 科学技術の発展	1 情報伝達技術の発展 2 エネルギー資源の活用と交通手段の発展 3 医療技術の発展	<ul style="list-style-type: none"> 情報技術がどのように発展してきたのかを理解する。 エネルギー資源の活用の変化から、交通手段がどのように変化していったのかを理解し、資源の利用と環境保全について考える。 医療技術の進歩について理解し、現在の医療技術について理解する。 	
	5		第Ⅱ編 人間生活の中の科学 第1章 物質の科学	第1節 材料とその利用	<ul style="list-style-type: none"> 身近な材料であるプラスチックや金属の種類や性質、用途について理解する。 資源の再利用について理解する。
	6				
	7			問題演習	<ul style="list-style-type: none"> 既習事項を再確認する。
二	9	第2章 生命の科学	第1節 生物と光 実験 光合成色素の分離	<ul style="list-style-type: none"> 植物の生育や動物の行動、人の感覚と光の関わりについて理解する。 ホウレンソウの光合成色素を分離させる。 	
	10		第3章 熱や光の科学	第1節 熱の性質とその利用	<ul style="list-style-type: none"> 熱の性質やエネルギーの変換とその保存、有効利用について理解する。
	11				
	12			問題演習	<ul style="list-style-type: none"> 既習事項を再確認する。
三	1	第4章 地球や宇宙の科学	第1節 身近な自然景観と自然災害	<ul style="list-style-type: none"> 身近な自然景観の成り立ちを理解する。 自然災害について理解し、防災について理解する。 	
	2				
	3		顕微鏡の使い方	<ul style="list-style-type: none"> 顕微鏡の使い方を理解し、正しいスケッチの方法を学習する。 	

評価の観点・評価の方法	◎評価の観点			
	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	実験・観察の技能	知識・理解
	科学技術の発展の歴史を理解し、身近な自然の事物・現象に関心や探究心を持ち、意欲的にそれらを探究する態度を身につけている。	科学技術の発展が、私たちの生活にどのような影響を与えているのかを理解し、問題を見いだす過程を通して事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	観察、実験を行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。	科学技術の発展が、私たちの生活にどのような影響を与えているのかを理解し、自然の事物・現象について正しい知識を身につけている。
◎評価の方法				
定期考査の成績、小テストの成績、ノートや課題の提出状況、実験のレポートおよび授業態度を総合して評価する。				